

四半期報告書の訂正報告書

(第85期第2四半期)

自 平成20年7月1日

至 平成20年9月30日



伊藤忠商事株式会社

(E02497)

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月22日
【四半期会計期間】	第85期第2四半期（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）
【会社名】	伊藤忠商事株式会社
【英訳名】	ITOCHU Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小 林 栄 三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
【電話番号】	大阪（06）6241-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 増 永 泰一郎 経理部 齋 藤 勇
【最寄りの連絡場所】	東京都港区北青山2丁目5番1号
【電話番号】	東京（03）3497-2121
【事務連絡者氏名】	総務部 武 村 洋 二 経理部 関 鎮
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 （東京都港区北青山2丁目5番1号） 伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 （名古屋市中区錦1丁目5番11号） 伊藤忠商事株式会社 九州支社 （福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号） 伊藤忠商事株式会社 中国支社 （広島市中区中町7番32号） 伊藤忠商事株式会社 北海道支社 （札幌市中央区北三条西4丁目1番地） 伊藤忠商事株式会社 東北支社 （仙台市青葉区中央1丁目3番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄3丁目8番20号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神2丁目14番2号） 証券会員制法人札幌証券取引所 （札幌市中央区南一条西5丁目14番地の1）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年11月13日に提出した第85期第2四半期（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）の四半期報告書及び平成21年1月28日に提出した同四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、同四半期報告書の提出日時点の状況においてこれを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第85期 第 2 四半期連結 累計期間	第85期 第 2 四半期連結 会計期間	第84期	
会計期間	自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日	自 平成20年 7 月 1 日 至 平成20年 9 月30日	自 平成19年 4 月 1 日 至 平成20年 3 月31日	
＜中略＞				
売上高	(百万円)	6,612,255	3,493,068	12,387,908

＜後略＞

(訂正後)

回次	第85期 第 2 四半期連結 累計期間	第85期 第 2 四半期連結 会計期間	第84期	
会計期間	自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日	自 平成20年 7 月 1 日 至 平成20年 9 月30日	自 平成19年 4 月 1 日 至 平成20年 3 月31日	
＜中略＞				
売上高	(百万円)	6,431,191	3,366,765	11,729,082

＜後略＞

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の分析】

〈前略〉

(訂正前)

(3) 業績の状況

〔当第2四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、為替が前第2四半期連結累計期間比円高となったこと及び繊維等において子会社数社が連結除外となったこと等により減収となったものの、金属資源・エネルギー価格の上昇及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増、食品流通関連の取扱増加があった食料等の増収により、前第2四半期連結累計期間比7,266億円（12.3%）増収の6兆6,123億円となりました。

〔当第2四半期連結会計期間〕（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

なお、日本の会計慣行に基づく当第2四半期連結会計期間の「売上高」は、子会社数社が連結除外となった繊維等において減収となるも、石炭、当第2四半期連結会計期間に決定された新価格が遡及して適用された鉄鉱石、原油等の金属資源・エネルギー価格の上昇及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増、食品流通関連の取扱増加があった食料等の増収により、前第2四半期連結会計期間比3,689億円（11.8%）増収の3兆4,931億円となりました。

〈中略〉

(4) オペレーティングセグメント別業績

当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

〔当第2四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加により、前第2四半期連結累計期間比6,324億円（37.3%）増収の2兆3,285億円となりました。

〈中略〉

〔当第2四半期連結会計期間〕（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加により、前第2四半期連結会計期間比2,957億円（31.6%）増収の1兆2,323億円となりました。

〈後略〉

(訂正後)

(3) 業績の状況

〔当第2四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

なお、日本の会計慣行に基づく売上高は、為替が前第2四半期連結累計期間比円高となったこと及び繊維等において子会社数社が連結除外となったこと等により減収となったものの、金属資源・エネルギー価格の上昇及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増、食品流通関連の取扱増加があった食料等の増収により、前第2四半期連結累計期間比7,215億円（12.6%）増収の6兆4,312億円となりました。

〔当第2四半期連結会計期間〕（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

なお、日本の会計慣行に基づく当第2四半期連結会計期間の「売上高」は、子会社数社が連結除外となった繊維等において減収となるも、石炭、当第2四半期連結会計期間に決定された新価格が遡及して適用された鉄鉱石、原油等の金属資源・エネルギー価格の上昇及び鉄鉱石販売数量の増加があった金属・エネルギー、飼料穀物・油脂等の食料原料価格の上昇及び取扱数量増、食品流通関連の取扱増加があった食料等の増収により、前第2四半期連結会計期間比4,137億円（14.0%）増収の3兆3,668億円となりました。

〈中略〉

(4) オペレーティングセグメント別業績

当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間におけるオペレーティングセグメント別の業績は、次のとおりです。当社はディビジョンカンパニー制を導入しており、その区分により記載しております。

〔当第2四半期連結累計期間〕（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加により、前第2四半期連結累計期間比6,273億円（41.3%）増収の2兆1,474億円となりました。

〈中略〉

〔当第2四半期連結会計期間〕（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

〈中略〉

④ 金属・エネルギーカンパニー

売上高は、金属資源・エネルギー価格上昇及び鉄鉱石販売数量の増加により、前第2四半期連結会計期間比3,405億円（44.5%）増収の1兆1,060億円となりました。

〈後略〉

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

		当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第2四半期連結累計期間 <u>6,612,255百万円</u>)	<中略> 1, 5	<中略>	

<中略>

【第2四半期連結会計期間】

		当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
<中略> (売上高 当第2四半期連結会計期間 <u>3,493,068百万円</u>)	<中略> 1, 5	<中略>	

<後略>

(訂正後)

【第2四半期連結累計期間】

		当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
＜中略＞ (売上高 当第2四半期連結累計期間 6,431,191百万円)	＜中略＞ 1, 5	＜中略＞	

＜中略＞

【第2四半期連結会計期間】

		当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
区分	注記 番号	金額 (百万円)	百分比 (%)
＜中略＞ (売上高 当第2四半期連結会計期間 3,366,765百万円)	＜中略＞ 1, 5	＜中略＞	

＜後略＞

四半期連結財務諸表注記

5 セグメント情報

＜前略＞

(訂正前)

【オペレーティングセグメント情報】

当第2四半期連結会計期間					
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	155,692	430,057	157,201	<u>1,232,337</u>	597,231
セグメント間内部売上高	174	297	1,036	106	5,392
合計	<u>155,866</u>	<u>430,354</u>	<u>158,237</u>	<u>1,232,443</u>	<u>602,623</u>
＜中略＞					
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		840,973	29,006	50,571	<u>3,493,068</u>
セグメント間内部売上高		183	3	△7,191	—
合計		<u>841,156</u>	<u>29,009</u>	<u>43,380</u>	<u>3,493,068</u>
＜中略＞					
当第2四半期連結累計期間					
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	287,144	763,060	286,038	<u>2,328,501</u>	1,139,502
セグメント間内部売上高	316	595	2,221	199	10,169
合計	<u>287,460</u>	<u>763,655</u>	<u>288,259</u>	<u>2,328,700</u>	<u>1,149,671</u>
＜中略＞					
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		1,639,773	74,058	94,179	<u>6,612,255</u>
セグメント間内部売上高		299	4	△13,803	—
合計		<u>1,640,072</u>	<u>74,062</u>	<u>80,376</u>	<u>6,612,255</u>
＜中略＞					

＜後略＞

(訂正後)

【オペレーティングセグメント情報】

当第2四半期連結会計期間					
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	155,692	430,057	157,201	<u>1,106,034</u>	597,231
セグメント間内部売上高	<u>174</u>	<u>297</u>	<u>1,036</u>	<u>106</u>	<u>5,392</u>
合計	<u>155,866</u>	<u>430,354</u>	<u>158,237</u>	<u>1,106,140</u>	<u>602,623</u>
＜中略＞					
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		840,973	29,006	50,571	<u>3,366,765</u>
セグメント間内部売上高		<u>183</u>	<u>3</u>	<u>△7,191</u>	<u>—</u>
合計		<u>841,156</u>	<u>29,009</u>	<u>43,380</u>	<u>3,366,765</u>
＜中略＞					
当第2四半期連結累計期間					
	繊維 (百万円)	機械 (百万円)	宇宙・情報・ マルチメディア (百万円)	金属・ エネルギー (百万円)	生活資材・ 化学品 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高	287,144	763,060	286,038	<u>2,147,437</u>	1,139,502
セグメント間内部売上高	<u>316</u>	<u>595</u>	<u>2,221</u>	<u>199</u>	<u>10,169</u>
合計	<u>287,460</u>	<u>763,655</u>	<u>288,259</u>	<u>2,147,636</u>	<u>1,149,671</u>
＜中略＞					
		食料 (百万円)	金融・不動産・ 保険・物流 (百万円)	その他及び 修正消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高：					
外部顧客に対する売上高		1,639,773	74,058	94,179	<u>6,431,191</u>
セグメント間内部売上高		<u>299</u>	<u>4</u>	<u>△13,803</u>	<u>—</u>
合計		<u>1,640,072</u>	<u>74,062</u>	<u>80,376</u>	<u>6,431,191</u>
＜中略＞					
＜後略＞					

【表紙】

【提出書類】

確認書

【根拠条文】

金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】

関東財務局長

【提出日】

平成21年5月22日

【会社名】

伊藤忠商事株式会社

【英訳名】

ITOCHU Corporation

【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小 林 栄 三
【最高財務責任者の役職氏名】	常務執行役員 関 忠 行
【本店の所在の場所】	大阪市中央区久太郎町 4 丁目 1 番 3 号
【縦覧に供する場所】	伊藤忠商事株式会社 東京本社 (東京都港区北青山 2 丁目 5 番 1 号) 伊藤忠商事株式会社 名古屋支社 (名古屋市中区錦 1 丁目 5 番 11 号) 伊藤忠商事株式会社 九州支社 (福岡市博多区博多駅前 3 丁目 2 番 1 号) 伊藤忠商事株式会社 中国支社 (広島市中区中町 7 番 32 号) 伊藤忠商事株式会社 北海道支社 (札幌市中央区北三条西 4 丁目 1 番地) 伊藤忠商事株式会社 東北支社 (仙台市青葉区中央 1 丁目 3 番 1 号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜 1 丁目 8 番 16 号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄 3 丁目 8 番 20 号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神 2 丁目 14 番 2 号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西 5 丁目 14 番地の 1)

1【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社の代表取締役社長小林栄三及び最高財務責任者（ＣＦＯ）関忠行は、当社の第85期第2四半期（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）の四半期報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2【特記事項】

特記すべき事項はありません。